

株式会社 酒井建築

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>廃棄される木っ端を積み木に加工し、木のぬくもりや、無駄を無くし活用することの大切さを感じて頂くために児童センターに寄付させて頂いています。 従業員の約半数が女性であり、性別による差別ではなく、能力による配置配属をしている。 地域のお祭や、地域団体への協力などパートナーシップに重きを置き、協働またはボランティア活動をしている。 インターンシップの実施など</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	5	<p>従業員の半数が女性である現状を踏まえ、今後女性役員への起用を積極的に行ってまいります。また性差別の無い能力による、昇給・配属を続けます。</p>	<p>引き続き女性の雇用数を維持すると共に、2030年までに女性役員を1名以上の増員を目指し、更なる社員教育の拡充や価値観の共有を目標とします。</p>
	社会	17	<p>会社の経営以外の部分で他業種や団体と協力をし、地域に根差した会社運営を図ると共に、福祉や生活をより良くすることで、私たちが地域に必要とされる会社を目指す。</p>	<p>現在協力している行政区が地元の大口町が大半なので、今後は尾張地方、そして愛知県中の取り組みに参画をし、より幅広く住みよい社会の実現の為に協働をする。まずは2030年までに新しい一つ以上の団体または行政区とのパートナーシップを組み事業を行う事を目標とします。</p>
環境	4・15・17	<p>積み木の寄付によって、行政の掲げる、木の大切さやその温もりを感じて頂く事を体現しもらい、より質の高い教育の共助 そしてそこにある当たり前の物の大切さを一緒に考えていく事を目指している。</p>	<p>現在大口町に年一回の寄付ですが、他の市町にも寄付展開していきたいと思えます。2030年までに合計3行政区を目標とします。</p>	